

# 事業所における自己評価表(放課後等デイサービス公表)

実施日 令和元年 10月 15日～11月2日

主に従事する支援員 7名 回答率 100%

なかよしランド

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	十分な広さは確保しており、高等部は別室で活動を行っています。柵特利用の児童に対してリラックスできるように工夫している。
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	人員配置基準は満たしており、現在の利用者数に対して適切な人員が確保できているが、作業療法士、言語聴覚士の配置をけんとうしていきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>			当事業所は全室バリアフリーになっております。ロッカーやトイレ等名前やイラストで提示し視覚的に情報伝達を行っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>			日々の打ち合わせや職員会議で業務改善の話題が出ているので、職員全員勤務の時に行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>			平成30年10月よりアンケートを実施。集計したものを職員間で共有し、改善に繋げていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>			法人のホームページで公開していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			<input type="radio"/>	第三者による外部評価は行っていないが、管理者会議等で評価を頂いた時には改善に繋げている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>			毎月、法人内の職員研修や児童部での専門研修や、その他外部への研修へも参加している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>			保護者同席でアセスメントを行い、児童に様子や要望を聞き取りを行い計画書が作成される。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>			なかよしランド・けやきで共有するアセスメントツールの見直しを行っています。適応行動の状況を図るため臨床発達心理士に相談、アドバイスを受けている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>			月のリーダーが立案し、サブを全員で行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>			子どもたちが楽しく参加できるように環境を設定し、準備を怠らない。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>			平日、休日は打ち合わせをして、細やかに設定し支援している。長期休みに入る前に打ち合わせを行いデイリープログラムや職員配置をしておく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>			コミュニケーションが苦手な児童に対して個別指導していきながら集団へ移行できるようにしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>			毎日、打ち合わせを行い前日の事やその日の担当、活動等について確認や準備を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>			支援終了後、支援の振り返りを行い周知をして共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>			記録を取ることを徹底している。管理者・児童発達支援管理者チェックして気付いたことを担当職員に返している。

関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		児童発達支援管理責任者がチェックし見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	○		ガイドラインに沿った個別支援計画書を作成し見直しを行っている。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		管理者・児童発達支援管理責任者・担当職員が参加している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		年間行事予定一覧が届くので、調整については送迎時やメールで行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	該当なし		受け入れる場合は、主治医、相談支援員等連携をしていく。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		保育所等訪問し、情報共有と相互理解に努めている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		個人情報使用の同意書を頂いている児童に対して法人内では今までの様子等の引継ぎを行っている。他事業所へ移行した子どもたちについては相談支援事業所と連携を取り支援内容の情報を提供する場合もある。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		県、市主催、栃木県障がい児通園施設連合会の研修に参加している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	ご兄弟と一緒に出来るイベント等を主催しているが、地域の子どもたちとの交流に、について今後検討していく。	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		○	児童の部を設定していただき可能な限り参加できるようにしていく。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時やモニタリングに発達の様子をお伝えして課題についても共通理解している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		子育てトークでペアレント・トレーニングを行っているため、今後も実施して行く。	
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時、質問等を受け丁寧な説明を行っている。
		31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		管理者・児童発達支援管理責任者・臨床発達心理士が必要な助言と支援を行っている。
		32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		子育てトークや親子参加型の行事を開催し保護者同士の共有の場として支援している。
		33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情があった場合丁寧に対応し、今後の対応についても職員間で共有し体制を整えている。また、苦情があった場合法人へ報告をしている。法人内に苦情委員会を設置している。
		34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月の活動やなかよしランドだよりを発行し配布している。
		35	個人情報に十分注意している	○		事業所内で厳重に管理し、職員にも周知徹底している。
		36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		利用児や送迎時に保護者の要望や必要な情報を伝達している。

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		○	親子ミュージックケアの案内をご兄弟や友だちにも声をかけていただいた。今後も続けていく予定である。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			保護者様には契約時に説明を行っている。法人のマニュアルを職員に周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	○		年4回実施しているが、午前中に訓練を行っているので利用時に訓練ができるようにしていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			職員でチェックを行い振り返りを行い虐待防止に努めている。法人内に虐待委員会を設置して。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			やむを得ず身体拘束を行う場合には保護者様に身体拘束に関する同意書を頂き、説明をし担当する職員が記録を残し、職員間で共有をしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			保護者様空のアセスメントシートよりアレルギーの一覧表を作成、弁当のメニューが心配な保護者様に配布し職員間で共有している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハットファイルを作成し事業所内で共有し振り返りを行っている。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。